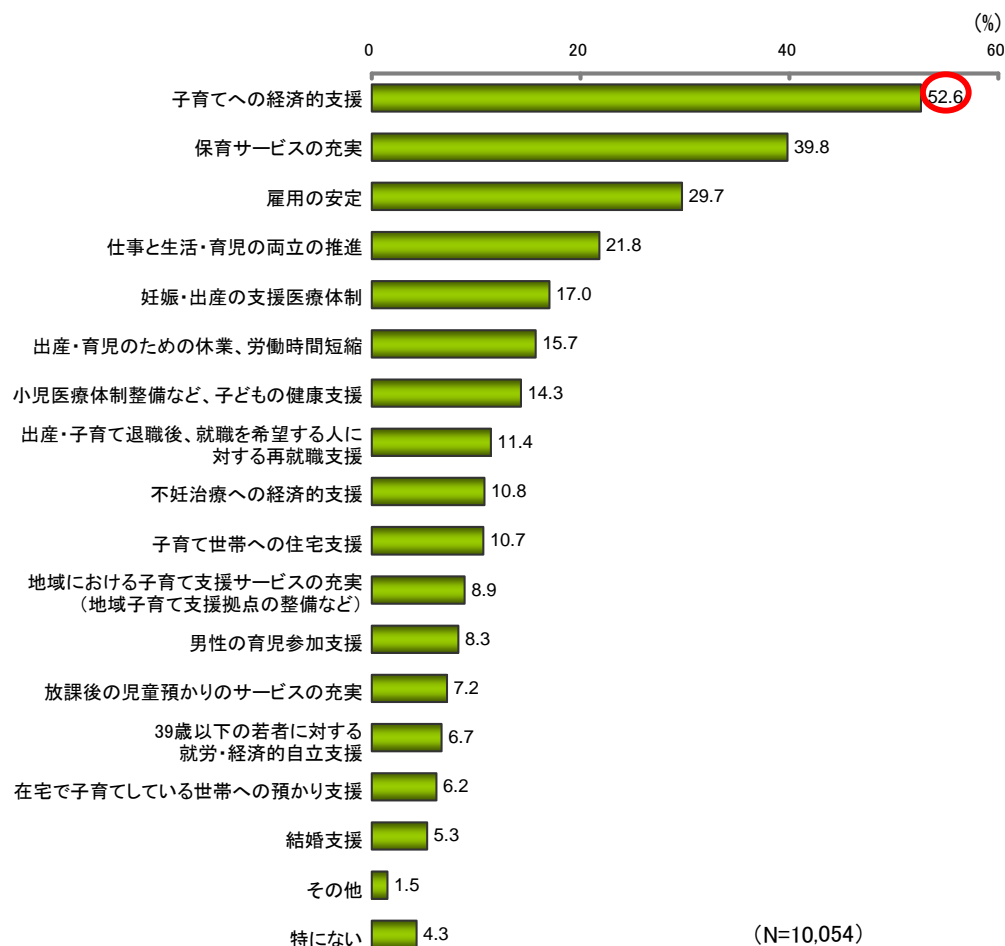


### (3)重要な少子化対策

Q19 あなたが、総合的にみて、少子化対策として重要だとお考えの対策はどれですか。次の中からあてはまるものを3つまでお選びください。(3つまで)



総合的に重要だと思う少子化対策としては、「子育てへの経済的支援」が 52.6%で最も多くあげられ、次いで「保育サービスの充実」(39.8%)と「雇用の安定」(29.7%)の順となっている。

男女別に上位 5 項目をみると、男女とも「子育てへの経済的支援」（男性 57.5%、女性 47.7%）、「保育サービスの充実」（同 38.3%、41.2%）、「雇用の安定」（同 32.6%、26.7%）、「仕事と生活・育児の両立の推進」（同 19.0%、24.7%）が上位 4 位までを占めている（図表 1-3-1）。

第 5 位には、男性では「出産・育児のための休業、労働時間短縮」（14.5%）が、女性では「妊娠・出産の支援医療体制」（21.1%）が、それぞれあげられている。

図表 1-3-1 重要な少子化対策：上位 5 項目（男女別）

【男女別】

	N	1位		2位		3位		4位		5位	
男性	5,067	子育てへの経済的支援	57.5	保育サービスの充実	38.3	雇用の安定	32.6	仕事と生活・育児の両立の推進	19.0	出産・育児のための休業、労働時間短縮	14.5
女性	4,987	子育てへの経済的支援	47.7	保育サービスの充実	41.2	雇用の安定	26.7	仕事と生活・育児の両立の推進	24.7	妊娠・出産の支援医療体制	21.1

(%)

性・年代別に上位 5 項目をみると、男性と女性の 30 代までは「子育てへの経済的支援」が第 1 位にあげられているが、女性の 40 代では「保育サービスの充実」（38.5%）と「雇用の安定」（34.4%）が、「子育てへの経済的支援」（32.8%）より上位となっている（図表 1-3-2）。

図表 1-3-2 重要な少子化対策：上位 5 項目（性・年代別）

【性／年代別】

		N	1位		2位		3位		4位		5位	
男性	20代	1,716	子育てへの経済的支援	62.0	保育サービスの充実	42.0	雇用の安定	28.0	仕事と生活・育児の両立の推進	19.3	出産・育児のための休業、労働時間短縮	17.2
	30代	1,692	子育てへの経済的支援	59.6	保育サービスの充実	37.6	雇用の安定	32.2	仕事と生活・育児の両立の推進	18.4	出産・育児のための休業、労働時間短縮	14.0
	40代	1,659	子育てへの経済的支援	50.8	雇用の安定	37.9	保育サービスの充実	35.3	仕事と生活・育児の両立の推進	19.2	小児医療体制整備等子どもの健康支援	13.4
女性	20代	1,700	子育てへの経済的支援	60.9	保育サービスの充実	47.5	仕事と生活・育児の両立の推進	24.8	妊娠・出産の支援医療体制	24.4	雇用の安定	20.6
	30代	1,659	子育てへの経済的支援	48.7	保育サービスの充実	37.4	雇用の安定	25.5	仕事と生活・育児の両立の推進	24.9	妊娠・出産の支援医療体制	22.0
	40代	1,628	保育サービスの充実	38.5	雇用の安定	34.4	子育てへの経済的支援	32.8	仕事と生活・育児の両立の推進	24.4	小児医療体制整備等子どもの健康支援	18.9

(%)

性・ライフステージ別にみると、男性のすべての層と子どものいる女性では「子育てへの経済的支援」が第1位にあげられている（図表 1-3-3）。これに対して、子どものいない女性では未既婚を問わず「保育サービスの充実」が僅差で第1位となっている。

男女とも長子が未就学児の層では、「子育てへの経済的支援」（男性 72.2%、女性 72.7%）の回答率が7割台と他の層より高くなっており、要望が強い。

また、全体では上位5項目に入っていない項目をみると、未就学児のいる男性で「子育て世帯への住宅支援」（20.7%）が第4位にあげられており、既婚で子どものいない女性では「不妊治療への経済的支援」（26.1%）が第3位にあげられている。

図表 1-3-3 重要な少子化対策：上位5項目（性・ライフステージ別）

【性／ライフステージ別】

		N	1位	2位	3位	4位	5位
男性	未婚 子どもなし	1,739	子育てへの経済的支援 47.6	雇用の安定 39.0	保育サービスの充実 34.6	仕事と生活・育児の両立の推進 20.4	出産・育児のための休業、労働時間短縮 16.0
	既婚 子どもなし	1,557	子育てへの経済的支援 54.0	保育サービスの充実 40.1	雇用の安定 29.9	仕事と生活・育児の両立の推進 18.5	妊娠・出産の支援医療体制 18.2
	長子 未就学	932	子育てへの経済的支援 72.2	保育サービスの充実 46.0	雇用の安定 24.7	子育て世帯への住宅支援 20.7	仕事と生活・育児の両立の推進 17.8
	長子 小学生以上	839	子育てへの経済的支援 68.4	保育サービスの充実 34.3	雇用の安定 33.4	仕事と生活・育児の両立の推進 18.4	小児医療体制整備等子どもの健康支援 16.6
女性	未婚 子どもなし	1,564	保育サービスの充実 41.9	子育てへの経済的支援 37.7	雇用の安定 31.3	仕事と生活・育児の両立の推進 28.4	出産・育児のための休業、労働時間短縮 20.9
	既婚 子どもなし	1,602	保育サービスの充実 40.9	子育てへの経済的支援 38.8	不妊治療への経済的支援 26.1	妊娠・出産の支援医療体制 25.8	雇用の安定 25.6
	長子 未就学	887	子育てへの経済的支援 72.7	保育サービスの充実 47.7	仕事と生活・育児の両立の推進 21.9	妊娠・出産の支援医療体制 20.7	雇用の安定 17.7
	長子 小学生以上	934	子育てへの経済的支援 55.8	保育サービスの充実 34.3	雇用の安定 29.7	仕事と生活・育児の両立の推進 25.4	小児医療体制整備等子どもの健康支援 22.8

(%)

性・出産意向別に上位5項目をみると、子どものいる層と出産意向のある層では未既婚に関わらず、男女とも「子育てへの経済的支援」が最も重要視されている(図表1-3-4)。

子どもがなく今後の出産意向のない男性では「雇用の安定」が、同様に子どもがなく今後の出産意向のない女性では「保育サービスの充実」が、未既婚にかかわらず、それぞれ最も重要視されている。

一方、子どもがいる男性では追加出産意向の有無にかかわらず「子育て世帯への住宅支援」が、上位5項目以内にあげられている。これに対して、既婚で子どものいない女性では出産意向の有無にかかわらず「不妊治療への経済的支援」が上位にあげられている。

図表 1-3-4 重要な少子化対策：上位5項目（性・出産意向別）

【性／出産意向別】

		N	1位	2位	3位	4位	5位	
男性	出産意向なし	未婚 子どもなし	雇用の安定 38.0	子育てへの経済的支援 37.2	保育サービスの充実 28.0	仕事と生活・育児の両立の推進 18.5	出産・育児のための休業、労働時間短縮 14.6	
		既婚 子どもなし	雇用の安定 39.0	子育てへの経済的支援 38.8	保育サービスの充実 32.4	仕事と生活・育児の両立の推進 16.9	出産・育児のための休業、労働時間短縮 11.9	
		子どもあり	子育てへの経済的支援 68.9	保育サービスの充実 36.5	雇用の安定 31.9	仕事と生活・育児の両立の推進 18.4	子育て世帯への住宅支援 17.8	
	出産意向あり	未婚 子どもなし	1,129	子育てへの経済的支援 53.1	雇用の安定 39.5	保育サービスの充実 38.2	仕事と生活・育児の両立の推進 21.3	出産・育児のための休業、労働時間短縮 16.8
		既婚 子どもなし	1,036	子育てへの経済的支援 61.7	保育サービスの充実 43.9	雇用の安定 25.4	妊娠・出産の支援医療体制 22.0	仕事と生活・育児の両立の推進 19.3
		子どもあり	679	子育てへの経済的支援 72.9	保育サービスの充実 46.8	雇用の安定 23.9	子育て世帯への住宅支援 20.2	小児医療体制整備等子どもの健康支援 17.7
女性	出産意向なし	未婚 子どもなし	保育サービスの充実 37.2	雇用の安定 36.2	子育てへの経済的支援 28.0	仕事と生活・育児の両立の推進 27.4	出産・育児のための休業、労働時間短縮 19.6	
		既婚 子どもなし	保育サービスの充実 36.7	雇用の安定 33.2	子育てへの経済的支援 28.4	仕事と生活・育児の両立の推進 24.6	不妊治療への経済的支援 20.5	
		子どもあり	子育てへの経済的支援 59.9	保育サービスの充実 37.5	雇用の安定 26.9	仕事と生活・育児の両立の推進 24.6	小児医療体制整備等子どもの健康支援 20.8	
	出産意向あり	未婚 子どもなし	815	子育てへの経済的支援 46.5	保育サービスの充実 46.3	仕事と生活・育児の両立の推進 29.3	雇用の安定 26.9	妊娠・出産の支援医療体制 25.2
		既婚 子どもなし	855	子育てへの経済的支援 48.0	保育サービスの充実 44.7	妊娠・出産の支援医療体制 31.3	不妊治療への経済的支援 31.0	仕事と生活・育児の両立の推進 20.2
		子どもあり	555	子育てへの経済的支援 73.5	保育サービスの充実 48.3	妊娠・出産の支援医療体制 25.2	仕事と生活・育児の両立の推進 21.6	小児医療体制整備等子どもの健康支援 18.2

(%)